

令和5年1月17日

1月の木材価格・需給動向

1. 国産材(北関東)

栃木県では原木生産は順調、入荷量は例年並み。2022年の県森連原木取扱量は20.1万m³と過去最高を記録した。スギ3m柱材は18,000円/m³前後、4m中目材も18,000円前後で強保合。ヒノキの3m柱材、4m土台材は横ばいで19,000円～20,000円、4m中目材は25,000円～26,000円を維持。

群馬県では降雪も少なく、原木入荷は順調に回復。年末年始の荷動きは悪い、製品の引き合いは首都圏、地場ともに少なく、公共事業の受注のみ順調。スギ柱、平角、母屋、桁の引き合いは減少傾向だが、土木用材の受注が回復傾向。製品在庫は増加、GR材の貫がだぶついている。製品価格は全体的に現状維持で推移。

2. 米材

米国内の製材品価格は11月以降一本調子の下落となった。金利上昇に伴う住宅需要の減退が顕著である。市場関係者は慎重な姿勢を強めている。原木価格も製品価格の動きに連動して調整中。米国では冬場の天候に移行したが、伐採に影響は出ておらず、港頭在庫も平年並み。一方カナダ側では例年に比べ降雪が早く、昨年は早々と伐採を手仕舞いするサプライヤーが多く、元々少ない在庫が更に減少。米マツIS級並の1月積み対日輸出価格は日本の製材最大手の強い値下げ要請があり、前月比\$50下げの\$1,100/千SCRで妥結した模様。産地SPF製材工場は減産を継続。一部では一時的なレイオフも見られる。日本向けDF/HEMの大手工場も3月までシャットダウン。ランダムレンジス紙発表の15種平均価格(1/12)は\$373/M、12月頭に比べ13.8%の下落。

11月原木入荷は125千m³と2022年で最低、1～11月累計は2.051千m³(前年同期比3.9%減)。出荷は148千m³で低調、1～11月累計は2,107千m³で前年同期比2.3%減。在庫は減少し157千m³となり、在庫率は0.86ヵ月で1ヵ月を下回った状態が続く。製品の荷動きも緩慢で国内製材各社は減産傾向にある。東京木材埠頭の12月製品入荷は8千m³(前月比33.3%減)、出荷は15千m³(同24.8%減)、在庫は32千m³(同17.0%減)。正角は欧州材下落もあり、動きは悪い。割物も以前のような引き合いは少ない。12月下旬に国内製材最大手は欧州集成材の値下がりに対抗して米マツ製品(正角/平角)の価格調整を行った。

3. 南洋材

サラワク州では本格的な雨期に入り、休暇シーズンが重なり出材、在庫とも大きく減少し、原木価格は反発。前月比\$10~\$20の上昇、1月に伐採が回復しない場合は更に\$10~\$20アップの可能性もある。PNG、ソロモンでは1月からの輸出材価格が引き上げられるが、大きな動揺はない模様。中国バイヤーが政府のコロナ政策の変更により需要増加を見込み、買い姿勢を強めており、価格の急反発が予想される。サバ州では1月に日本向け配船の予定がある。1月予想の原木入荷は0千 m^3 、出荷は2千 m^3 、在庫9千 m^3 。製材品入荷は29千 m^3 。

4. 北洋材

産地では冬伐り原木の入荷が始まったが、特に中国をはじめ日本市場の不振により製材工場の稼働は低迷している。円安是正により日本側は買いやすくなったが、不足品目の補充買い程度で積極的な交渉には至っていない。アカマツ原板は日本側の在庫、契約残はあるが、徐々に交渉が始まり新規仕入に動きつつある。現地挽き完成品は野縁3mなど一部の良材製品に不足感があるが、4mの在庫が潤沢で本格交渉には至っていない。国内製材工場ではDIY/一般ルートとも引き合いは低調で生産調整を行っている。11月の製品入荷(東京+川崎)は11千 m^3 と10月に比べ増加。この入荷水準が暫く継続する見込み。出荷は13千 m^3 で前月同様に低水準。在庫は59千 m^3 と減っているが、需要に迫力が乏しく不足感には至っていない。このまま春先まで在庫の減少が続くものと予想される。

5. 合板

合板メーカーでは生産調整の中、国産原木の受入制限を実施しているが、仕入価格は下げている。合板価格の値崩れにつながる弱材料を排除したいものと見られる。原料は国産材にシフトしてきたが、ロシア単板の代替として米マツを求める声は強く、歩留まりを考慮すれば、単板でのニーズが強まっている。

11月の国内合板生産量は22.6万 m^3 、うち針葉樹合板は22.1万 m^3 、出荷量は21.9万 m^3 で在庫量は17.4万 m^3 、うち構造用合板の在庫は14.1万 m^3 と前月より大幅に増加し、2020年8月以来の高水準(在庫率0.7ヵ月)。針葉樹合板の引き合いは12月も回復しない。プレカット工場向けの荷動きは比較的堅調であるが、ルートが鈍く盛り上がり欠ける展開となっている。針葉樹価格は保合推移である。輸入合板の市況は産地の雨期により引き締まるタイミン

グではあるが、サプライヤーから強気の発言は聞かれない。11月の合板輸入量は17.5万 m^3 (前月比2.1万 m^3 減)で、マレーシア以外の主要国からは微増しているが、中国産がピーク時より大幅に減少し、針葉樹合板は2,747 m^3 (12mm換算13.5万枚)。インドネシアでは各国からの引き合いが少なく市場は閑散としており、合板メーカー各社は減産措置を継続している。マレーシアでも各国からの引き合いは大幅に減少しており、原木生産量は微減ながら原料逼迫の声は聞こえなくなっている。

6. 構造用集成材

ラミナは昨年第3・四半期契約分が入港している。第4・四半期契約分も今後入港するが、いずれも契約量は例年に比べ大幅に少ない。第4・四半期契約は m^3 当たり€300前後で每期€100ほどの値下がりである。今年第1・四半期契約は€280程度。昨年12月の入港価格は75,000円/ m^3 、価格が安定するのは今年1月以降となる。輸入集成材の12月の国内流通価格は100,000~105,000円/ m^3 。プレカット工場の在庫過多には改善が見受けられ、集成材メーカーの受注量は若干上昇したものの、大きな受注回復には至っていない。

7. 木材チップ(東海)

チップ原木は製紙・バイオマス用とも引き合いは強く、慢性的に原木の不足感が強い。解体材は発生、入荷ともに良くない。今後の集荷に各社警戒感が非常に強い。製紙用の使用量は年末年始に大手製紙会社の定期修理により若干の不服感が見られたが、国産チップ(LC/NC)の増集荷基調は継続している。燃料用は冬場で使用量が増加しており、集荷への警戒感が強い。製紙・燃料用とも在庫の積み増しは例年以上に厳しい。

8. 市売問屋

国産材、外材の構造材ともにリードする品目がなく荷動きは悪い。スギ、ヒノキ造作材も荷動きが悪くなっており、価格も下がりそうな気配である。外材造作材は円安のため安く売れず、材は溜まる一方である。材木店の仕事が少ないため当用買いの域を出ない。ロシア材も不足感が無い。

9. 小売

住宅資材の荷動きに活気がない。コスト高で売れ行きが伸びず、業者の体力が削られている。流通在庫の調整は進んできたが、荷もたれ感が残っている。国産材製品はウッドショック前の価格水準に近づきつつある。ヒノキの柱、土台は値下がりしたが、スギ製品は原木価格の高止まりから保合。外材製品は荷もたれ感が解消せず越年した。WW集成柱価格の弱含みは継続、RW集成平角も先物や競合材の価格に連動して値下がりが見通し。首都圏では米材役物製品の価格が続伸しており、枞材にスギ、ヒノキの代替需要が起きている。

1. 主要外材入出荷在庫量

		入荷量	出荷量	在庫量
米材	丸太	→	→	→
	製材品	→	→	→
北洋材	丸太	輸出禁止	*	*
	製材品	↘	→	↘
南洋材	丸太	↘	↘	→
	製材品	→		

注)北洋製材品は東京・川崎

矢印の表示は今月に対する翌月の動向を、下記のように示したものである。

- ↑ 急増・急上昇
- ↗ 増加・上昇
- 横ばい
- ↘ 減少・低下
- ↓ 急減・急落

2. 合板供給量

国内製造量	輸入量		
	計	インドネシア	マレーシア
↘	↘	↘	↗

3. 価格動向

樹材種	形状	取引条件	樹種・寸法等	動向
国産材	丸太	卸売価格 (北関東、県内産 市場土場渡し)	スギ柱材 (3m) 2等	→
			スギ中丸太 (3.65m) 2等	→
			ヒノキ柱材 (3m) 2等	→
			ヒノキ中丸太 (4m) 2等	→
	製材品 (関東近県産 板は東北産)	首都圏・市売り 価格	スギ柱角 (KD) 10.5×10.5×3m 特等	↘
			スギ柱角 (KD) 12.0×12.0×3m 特等	↘
			スギ間柱 (KD) 10.5×3.0×3m 特等	↘
			スギ加工板 1.3×18.0×3.65m 特等	→
			スギタルキ 3.0×4.0×3.65m	→
			ヒノキ柱角 (KD) 10.5×10.5×3m 特等	↘
ヒノキ柱角 (KD) 12.0×12.0×3m 特等	↘			
ヒノキ土台角 12.0×12.0×4m 特等	↘			
米材	丸太	産地価格	米マツ ISタイプ	↘
		国内卸売価格 (京浜・オントラ)	米マツ ISタイプ コースト	↘
	製材品 (カナダ産・ 現地挽き) (国内挽き)	東京・問屋店頭 渡し価格	米ツガ桁角 (KD) Std&Btr S4S 10.5×10.5×4m	↘
			SPF 2×4 J-Grade R/L	↘
			米ヒバ土台角 (GR) Std&Btr 4・13/16” 13’	↘
米マツ平角 (KD) 特等 10.5×24.0×4m	↘			
南洋材	丸太	産地価格	メランティレギュラー	→
		東京・水面筏 渡し価格	メランティレギュラー 60cm上、4m上 製材用 メランティレギュラー 60cm上、4m上 合板用	→
	製材品	産地価格	ホワイトセラヤ 平割 (サバ州産)	↗
		東京・問屋店頭 渡し価格	同上2.4cm×込み×4m 定尺1等	↗
北洋材	製材品	国内卸売価格 (京浜・オントラ)	アカマツ (KD) 30×40上級	↘
			アカマツ (KD) 16×40上級	↘
欧州材	製材品 (現地挽き)	東京・問屋店頭 渡し価格	ホワイトウッド 間柱 3.0×10.5×3m S4S FOHC	↘
			ホワイトウッド ラミナ 2.4×11.0×3m上 ラフ乱尺	↘
集成材	国産	東京・問屋店頭 渡し価格	ホワイトウッド 無化粧 JAS 5プライ	↘
			スギ 無化粧 JAS 5プライ	↘
	欧州産	//	10.5×10.5×2.98m	↘
合板	国産	東京・問屋店頭 渡し価格	タイプ2 F☆☆☆☆ 2.3mm厚 3×6	→
			タイプ2 F☆☆☆☆ 4.0mm厚 3×6	→
			型枠 12.0mm厚 3×6	↗
			針葉樹構造用 12.0mm 3×6 F☆☆☆☆	→